

研究・調査報告書

| 報告書番号 | 担当 |
|--|-------------------|
| 166 | 滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学 |
| 題名（原題／訳）： | |
| Controlling alcohol-related global health problems. アルコールに起因する健康問題についての世界的対策 | |
| 執筆者： | |
| Lam TH, Chim D. | |
| 掲載誌（番号又は発行年月日）： | |
| Asia Pac J Public Health. 2010 Jul;22(3 Suppl):203S-208S. | |
| キーワード： | |
| アルコール、飲酒、健康問題、対策、 | |
| 要 旨 アルコールが及ぼす問題は、疾患罹患、外傷、暴力、基本生活能力の低下、社会的問題、精神疾患、飲酒運転、薬物乱用、乱性交や早世などに及ぶ。さらに、アルコールは発がん性作用がある。International Agency for Research on Cancer はアルコールは口腔がん、咽頭がん、喉頭がん、食道がん、肝臓がん、大腸・直腸がん、乳がんと結論づけている。また、World cancer Research Fund/American Institute for Cancer Research は少量であれアルコール飲酒を控えることを推奨している。全世界において 2004 年の総死亡の 3/8%、基本生活能力の低下の 4.6%がアルコール飲酒により引き起こされているにもかかわらず、中国とアジアではアルコール飲酒量が急増している。World Health Assembly による世界的な対策のよびかけに反して、香港では 2008 年からワインとビールの酒税をゼロに引き下げた。国際的な構成によるアルコール対策会議が早急に必要である。最も有効な政策は酒税の引き上げと、アルコール広告および販売促進の禁止であろう。 | |